

セカチラ 第 140 時間目 コスタリカ共和国の回で、メキシコへの併合を支持するカルタゴ派と、独立を支持するサンホセ派の戦場となったオチョモゴ(Ochomogo)の地名に、大谷さんとアッキーさんのテンションが妙に上がっていたので、どんなところなのか行ってみました。



1910 年の地震で倒壊したカルタゴの教会跡



オチョモゴ。カルタゴからサンホセ方面にバスで 10 分ぐらい

オチョモゴは、旧首都、カルタゴの郊外に広がる丘陵地で、現在は家々が坂に張り付くように建っている静かな地域でした。



坂道に建つ学校



中心部のサッカー場

戦場という名にそぐわない穏やかな風景と、そこで静かに暮らす気のいい人々。

「兵どもが夢のあと」という一節が、思い出されました。

お散歩して、町の人とちょっと話したりして帰ってきました。観光地でもなんでもないけれど、平和な時間の流れる、のどか～な、いい所でしたよ。

ちなみに…

コスタリカ人数人に聞いてみましたが、「オチョモゴ」は、「8回モゴモゴ言った」わけではもちろんなくて(笑)、はっきりわからないけど先住民の言葉じゃないかなあ…とのことでした。

以上、オチョモゴ レポートでした。